

# ずっと残したい。ゆたかな水を

生活に恵みをもたらす豊富な湧水。それは小林の宝物。

**冒** 頭で紹介したとおり、地球上で人間が利用可能な水は、その割合からすればごくわずか。しかし、その水は、生物が生きていくためには、必要不可欠な存在です。

世界に目を向けると、気候変動による砂漠化や、人口の増加と急激な都市化、それに伴う河川や地下水の水質の悪化などが原因となり深刻な水不足が懸念されています。河川が複数の国にまたがる地域では、戦争が起きていくところもあります。石油やレアメタルと同じように、地球上に存在するわずかな水を求めて、必死に生きる人々がい

ます。

水は貴重な資源です。小林市において、地下水を始めとする水資源は、私たちに広く利用され、潤いと安らぎを与える存在として守り親しまれて

きました。このことから、水資源は私たちが生活するうえで欠くことのできない、共通の貴重な財産であるといえます。

しかし、今後、水資源が、環境の変化や無秩序な地下水の利用などで、減少や枯渇することが考えられます。

その時、私たちは、地下水のおかげで享受している現在のよ

うな健康的で快適な生活環境を維持できるでしょうか。また、市の基幹産業である農畜産業を

はじめ、様々な産業に大きな影響を及ぼすことが考えられはしないでしょうか。

10月1日、小林市水資源保全条例が施行されました。

小林市の水は限りある資源であり、市民の貴重な財産であるとして、市、市民、事業者など、みんなが手を取り合いこれを守っていくと謳っています。

水は郷土の宝です。私たちに、これを守り、磨き

未来に引き継ぐ義務があります。小林市がずっと「湧水のまち」であり続けるために。そして、その恵みを私たちの子孫も受けられるように。水といつまでも 完

特集

# 水といつまでも

Lives with water